

大豆情報

(第5号)

平成29年9月30日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

大豆の落葉が始まり、収穫期が近づいています。収穫が遅れると莢がはじけて、収量ロスが発生すると共に、「しわ粒」や「腐敗粒」によって品質が低下します。
速やかに刈取りができるよう準備を進めて、適期に収穫しましょう。

1. 収穫開始の目安

◆落葉期（ほ場全体の約半分の株が完全に落葉した時期）から約6日後が収穫開始時期になります。**今年もほ場ごとの成熟の進み方に差があるので、表1を参考に褐色莢の程度を確認し、刈遅れないよう計画的に作業を行いましょう。**

◆茎の色みが若干残っていても莢色を優先して収穫してください。

【表1 褐色莢の割合と収穫開始日までの目安】

褐色莢 (%)	収穫開始日までの日数
50	8日程度
70	5日程度
90	2日
95	0日

【莢色の進み方】



【収穫開始の目安（エンレイ）】

5月下旬播種：10月 5日頃～
6月上旬播種：10月 7日頃～
// 中旬播種：10月10日頃～

【収穫開始時期の株の状態】



一品種の収穫適期幅は7日程度しかないので、刈遅れないように注意！

子実水分22.3%
茎水分66.6%

2. 収穫準備

◆汚損粒の発生を防止するため、**早めに青立ち株や大型雑草の抜取りを行い**、刈取りの準備を進めてください。

3. 収穫作業

- ◆収穫は10時～16時を目安とし、**莢が乾いていることを確認**してから行いましょう。
- ◆**刈取り高さは地際から10cm程度**とし、土が入らないようにしてください。
- ◆作業速度は、**0.5m/秒（1.8km/時）程度**で行い、収量ロスを減らしましょう。また、大豆が倒伏している場合は向い刈りとしましょう。

4. 乾燥作業

◆急激な乾燥は、しわ粒や皮切れ粒等の発生要因となります。機械乾燥する場合は、送風温度を「気温+5℃以内」とし、子実水分13%程度に仕上げましょう。



JA乾燥施設は10月5日から稼働します。